



落穂会だより

秋季号 2014.10

社会福祉法人 落穂会
 鹿児島市皆与志町2503番地
<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

障害児入所施設
あさひが丘学園
(Tel 238-4821)

障害者支援施設
あさひが丘
(Tel 238-4821)

地域生活支援センター
あさひが丘
(Tel 243-1112)

障害者支援施設
旭福祉センター
(Tel 244-3551)

障害福祉サービス事業
第二旭福祉センター
(Tel 244-3551)

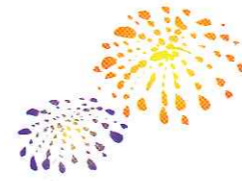
<http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>



グループホームあさひが丘について
 地域生活支援センターあさひが丘が管理するグループホームあさひが丘には、花梨（女性五名）、つばき丸（男性五名）、くるみ（女性四名）、四郎丸（男性八名）、ももか（女性四名）、とんぼ丸（男性八名）の計六棟のグループホームがあり、現在三十三名の方が地域で生活を送っています。日中はあさひが丘学園の生活介護に七名、ワークショップあすもねに十五名、旭福祉センターに三名、ワークステージつばき丸に四名と利用者の状態に合わせた就労継続支援B型などの事業所を利用しています。またあさひが丘学園の調理を委託している株式会社東臣の調理補助として一名、株式会社フジデリカ鹿児島工場の工場内の清掃員として二名の方が一般就労しています。休日は地域の夏祭りや運動会、地域の草刈作業などにも参加し地域の方々と交流の機会を持ち、それぞれのホームごとに日用品の購入や外食などに出掛けています。ホーム入居者全員で買い物に出かけることもあり、希望があれば、一人で公共交通機関を利用して映画鑑賞や買い物に出かける方もいます。グループホームの生活では身の回りのことは自分でやらせてもらっています。入居者のほとんどはあさひが丘学園の入所施設を利用していました。洗濯や掃除などは支援員にってもらっていた方が多く、グループホームで生活するようになって、初めて経験することが多かった方がほとんどでしたが、時間をかけて繰り返し練習することで洗濯や掃除、衣類の整理などの生活習慣が身につけてきました。自分で出来る事が増えたことで自信が持てるようになり、「一人暮らし」の目標を持ち、それを現実させるために頑張っている方もいます。地域で生活することは、楽しいこともたくさんありますが、マナーや社会性も大切になってきます。これからは地域住民の一人としてより豊かな生活が送れるように支援していきたいと思っています。



地域生活支援センターあさひが丘 統括主任 前田 卓



◆あさひが丘学園
 甲斐 俊太朗さん
 (明星学園)

退所者

◆あさひが丘学園
 小原 良一 運転士
 乗り物を操る事が大好きで利用者の安全輸送に最大限努めます。

◆あさひが丘学園
 末満 美鈴 業務員
 元気に一生懸命、頑張ります。よろしくお願ひします。

新任職員紹介

◆地域生活支援センター
 米盛 大翔さん
 あすもねでペプシとエコープラザのお仕事を頑張っています。

新通所者紹介

ベーカリー楓・カフェ NODOKA の感謝フェアが無事終了しました

ベーカリー楓・カフェ NODOKA は今年で5周年ということで9月13日(土)・14日(日)・15日(月)に感謝フェアを行いました。初めての試みということもあり、感謝フェアを開催するまで不安が絶えませんでした。しかし、期間中は天候の悪さにも関わらず、3日間を通してたくさんのお客様にお店へ足を運んでいただきました。また、13・14日には手作りピザ体験講習も行ない、参加された子どもから大人までみなさん楽しそうにピザ作りに参加していただくことができたかと思ひます。そして、ベーカリー楓・カフェ NODOKA をたくさんの方に知っていただく良い機会になったと思ひます。今後もベーカリー楓・カフェ NODOKA をよろしくお願ひいたします。



～あさひが丘 秋祭り～

日時：平成26年11月22日(土)
 10時から15時(予定)
 場所：あさひが丘学園 園庭

*模擬店・舞台発表
 神村学園吹奏楽部マーチングバンド
 楽しいイベント盛りだくさん!



メープルメロンパン 130円

ベーカリー楓オススメ!
 今回のオススメ商品はメープルメロンパンです。パン生地とメロン生地両方にメープルの香りをたっぷりのメロンパンです。この秋、紅葉の景色のお供はいかがですか?

◆ 行事報告 ◆

- 7月5日(金) お泊り療育
児童発達支援「歩路」でお泊り療育を行いました。8名の子どもたちが参加、野菜の収穫やカレー作りを体験、夜は花火などを楽しみました。子どもたちからは楽しかった。また、お泊りしたい。」などの感想が聞かれました。
- 7月12日(土) 合同保護者職員懇親会
母の部(歩路・セルク・トリア)
保護者17名、職員18名が参加しました。子どもたちの家庭での様子や、療育の様子などの情報交換をしています。母親同士で意見や悩みの相談をしている姿があり、和気あいあいとした中での懇親会となりました。
- 7月12日(土) 第5回フットサル大会
ふれあいスポーツランドで第5回鹿児島県知事杯障害者フットサル大会が開催されました。あさひが丘から出場、惜しくも1回戦で敗れてしまいました。この悔しい思いをバネに、来年も頑張りたいと思います。旭福祉センターからも出場、二年連続で優勝をおさめることができました。危ない場面もありましたが、毎日の練習で培ったチームワークで乗り越えることができました。来年度は、三連覇を目指し頑張ります。
- 7月19日(土) 塚田神社六月灯
塚田神社で六月灯が開催されました。かき氷やとうもろこし焼きなどの出店が並び、みなさん何を買おうか迷っているようでした。ステージでは地域の方々の演目と一緒に手拍子やかけ声を出し、みなさん楽しそうに過ごしていました。
- 7月21日(月) YPO夕涼みコンサート
あさひが丘で、海の日恒例となっているYPO夕涼みコンサートが開催されました。今話題の映画主題歌から往年のヒット曲まで、幅広い演奏曲に合わせて、みんなで歌ったり踊ったり、楽しいひと時を過ごしました。
- 7月26~27日(土・日) 旭福祉センターキャンプ
旭福祉センターでは、入所利用者26名、職員3名、計29名で1泊2日のキャンプに宮崎方面に出掛けました。えびのにあるコココーラ工場見学では、普段飲んでいるジュースができる工程をととも興味深そうに見学していました。また、キャンプ場の皇子原公園では、夕食にセンターで取れた野菜を使ってカレーを作りました。夕食後は、大きなスクリーンでジブリ映画を観て楽しいキャンプとなりました。
- 7月28日(月) 不審者対応訓練
あさひが丘学園で、不審者対応訓練を行いました。

七月

八月

九月

- 利用者111名、職員35名、計146名が参加しました。訓練終了後は、立ち会ってもらった警察官より講話があり、不審者への対応などのアドバイスなどがありました。今後に生かしていきたいと思えます。
- 8月1日(金)~12日(火) 個別相談2回目
あさひが丘では、今年度2回目の個別相談がありました。50家族の参加があり個別支援計画の説明と同意をもらっています。
- 8月9日(土) 落穂会・ゆうかり夏祭り
今回は、台風8号の影響で中止となりました。
- 8月12日(火) 食育指導
あさひが丘で、子どもたちを対象にした食育指導を行いました。年少児の利用者12名が参加、紙芝居で野菜の働きを説明、DVDを見ながら体操を行ないました。最後には、みんなで人参入りのホットケーキを作りました。皆とても楽しそうな様子でした。
- 8月23日(土) サマーナイト花火大会
旭福祉センターでは、利用者12名、職員5名でサマーナイト花火大会に行きました。北埠頭から眺める約1万3千発の色鮮やかな花火を楽しみました。
- 8月29日(金) 1日遠足
放課後等デイサービス「我路」で加世田海浜公園に利用者25名、職員17名が1日遠足に出かけました。水遊びや散策、自転車などで遊び楽しい時間を過ごしました。夏休みの楽しい思い出になりました。
- 9月7~9日(日・月・火) 東京旅行①
あさひが丘グループホーム利用者9名・引率職員3名で、東京ディズニーランドを中心にした東京旅行に出掛けました。
- 9月19・20日(金・土) のどかビアガーデン
旭センターでは、入所利用者によるビアガーデンをカフェのどかで行いました。豪華な食事を堪能しながら利用者同士で話らい、楽しい時間を過ごしました。
- 9月23~25日(火・水・木) 東京旅行②
あさひが丘グループホーム利用者9名・引率職員3名で、東京ディズニーシーを中心にした東京旅行に出掛けました。
- 9月28~30日(日・月・火) 東京旅行③
あさひが丘グループホーム利用者9名・引率職員3名で、東京ディズニーランドを中心にした東京旅行に出掛けました。

障害児支援の在り方に関する検討会について②

あさひが丘学園統括施設長 水流純大

平成二十六年一月に厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長のもとに設けられた「障害児支援の在り方に関する検討会」は、計十回の審議が行われ、七月十六日に報告書が出された。本稿では、平成二十七年四月に行われる報酬改定や障害者総合支援法施行三年後の制度見直しに一定の影響を与えると思われる本検討会報告書についてその概要を述べることとする。

まず、今後の障害児支援の在り方の基本理念として、「地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進と合理的配慮」が掲げられた。本年一月、わが国も批准した障害者権利条約では、障害に基づくあらゆる差別(「合理的配慮」の否定を含む)の禁止や障害者の地域社会への参加・包容の促進等が定められていることから、それに連動する形で障害児についても地域社会への参加・包容の推進を図ることが第一の基本理念とされた。この基本理念を踏まえて、

今後の障害児支援の在り方については、「障害児の地域社会への参加・包容を子育て支援において推進するための後方支援としての専門的役割の発揮」を行うものと位置付けられた。報告書では、「障害児支援を、施設・事業所等が持つ持っている専門的な知識・経験に基づき一般的な子育て支援施策をバックアップする後方支援として位置付け、保育所等訪問支援等を積極的に活用して保育所等の育ちの場における障害児の支援に協力できるように体制づくりを進めていくことが必要である。」とされた。

また、基本理念の三番めに「障害児本人の最善の利益の保障」が、四番めに、「家族支援の重視」が挙げられている。これらの基本理念を具現化するために、「地域における縦横連携の推進」が提言されている。「縦横連携」とは、①ライフステージに応じた切れ目のない支援(縦の連携)、②保健・医療・福祉・保育・教育・就労支援等とも

連携した地域支援体制の確立(横の連携)である。

「縦横連携」を進めるための具体的方策として、まず第一に「児童発達支援センター等を中心とした地域支援の推進」が挙げられている。児童発達支援センターは、通所児童への専門的療育支援を行うだけでなく、「障害児者その家族からの相談に応じるほか、児童発達支援等の事業所や障害児を受け入れている保育所等への専門的支援の実施、人材育成や地域住民が障害児に対する理解を深めるための活動を行うなど、当該地域における障害児支援の中核施設としての役割が求められる。このため(中略)保育所等訪問支援及び障害児相談支援の指定を受けることが必要」とされ、地域支援機能を持つことが必須とされた。

第二には、「入所施設の機能の活用」として、①重度・重複障害、行動障害、発達障害等多様な状態像への対応のための発達支援機能、②退所後

の地域生活、障害者支援施設への円滑な移行、就労へ向けた対応のための自立支援機能、③虐待児児童等の対応のための社会的養護機能、④在宅障害児及び家族への対応のための地域支援機能が考えられるとされた。入所施設が持つべき四機能については、(公財) 日本知的障害者福祉協会が提案した内容がほぼそのまま採用されており、入所施設がこの四機能を持つことにより、児童発達支援センターと共に地域における障害児とその家族を支える拠点施設としての役割を果たすべきであると考える。

第三は、「障害児相談支援の役割と拡充の方向性」である。障害児相談支援は、「地域における「縦横連携」の要として、今後さらなる体制整備を図っていくべきものである。その中で、特に、障害児相談支援に当たっては障害児本人だけでなく保護者・家族にも寄り添うことが重要であり、保護者が障害の存在を受け入れることが困難な場合があること等、保護者の気持ちへの配慮が必要である。」とされ、その重要性が指摘されている。障害児相談支援体制を充実させるための「報酬上の評価」にも言及されているが、これらの点については次号で述べることとする。

不審者を確保

あさひが丘学園

不審者
対応訓練

西警察署の方より、職員向けの講話

グループホーム
東京旅行

地域生活支援センター

乾杯！センターの野菜を使った
カレーは美味しい！

キャンプ

星空の下
ジブリ映画を
観賞中♪

旭福祉センター
サマーナイト
花火大会

↑桜島をバックに
ハイ！チーズ！

色鮮やかな花火が
たくさん上がりま
した！
たまや〜♪→

旭福祉センター

ビアガーデン

すなつぶ スナック

あさひが丘学園

～YPO夕涼み
演奏会～

「楽しい演奏をありがとう♪」

あさひが丘学園

いむた池
「プール楽しいな」

水族館「さかながいるよ」

夏季外出

甚平に着替えて、
お買い物→

塚田神社
六月灯

あさひが丘学園

旭福祉センター

←合から出店に並んで
かき氷を食べるみなさん！

あさひが丘学園

↑試合前のウォーミングアップ

↓頑張るぞー！
おー！

フットサル大会

敵をかわしてシュートなるか!??→
↓祝!!優勝2冠達成!!

旭福祉センター

あさひが丘学園

食育指導

「旅行の思い出」

さんほみち

地域生活支援センター 利用者
太田 広子

私は、初めて東京旅行に行きました。最初はスカイツリーに行き高い所まで行きました。下を見ると落ちそうな感じがしましたが、怖くありませんでした。ものすごく楽しかったです。昼ご飯は皆と別々で食べました。時間があつたので、すみだ水族館に行きました。ペンギンがいました。ペンギンに会ってすごくかわいかったです。写真を撮りたいくらいかわいかったです。そしてきょうりゅうの骨もありました。夜はチューハイを買いに行こうとして、店に入りましかたが、店の人に何歳ですかって聞かれました。シヨックで職員に助けられました。買って買ってチューハイを飲んで、とても嬉しかったです。二日目はやつと東京デイズニードに行きました。最初はパレードを見ました。ミニちゃんやミッキーマウスやくまのプーさんや三匹の子ブタや色々なキャラクターがいました。一緒にダンスをしました。ミニ・オー！ミニーを見に行きました。ミッキーやミニーちゃんやダンスをしてました。キャラクターの皆も一緒にダンスをしていました。そして、スプラッシュ・マウンテンに乗りました。水がかかってきて最初はビックリでした。ビックリサンダーマウンテンはゆっくり動いていたら途中で速くなってビックリでした。

「自称メタボ。長男の潤一です」



旭福祉センター 保護者
村野 由美子

潤一は、会話が上手くできません。自分の言いたい事だけを勝手に喋っています。今回、この欄をお借りして本人に代わって自己紹介させていただきます。

昭和六十三年生まれの潤一は、今年二十六才になりました。翌年には平成になりましたので、数少ない昭和六十四年生まれ、平成元年生まれの子達が同級生です。平成と共に育ってきたという感じです。この二十六年間、どうしようと思つた事も多々ありましたが、現在元気で旭福祉センターに通っている事は、本当に有難いです。体調が悪いとき以外は、「行かない」「行きたくない」とは言

「我以外皆我師」



旭福祉センター 職員
折田 健

私は、小学生の頃から現在までの影響で剣道を続けてきました。今の影響で剣道の練習が中や、雪が降る寒い中で足の感覚が無くなるような中で、竹刀を打ち込んできました。そのような日々の中で、ある先生に教えていただいた、自分自身の中に留めている言葉があります。「我以外皆我師の精神を持って」正直、最初はこの言葉の意味がよく分かりませんでした。家に帰り、すぐに調べたところ、「人や物、環境さえも、自分自身に対して何かを伝え、教えてくれている師である」というある小説で、宮本武蔵が言った言葉でした。意味を知ったとき、自分自身のことを改めて考え直さなければならなさと感じました。暑さや寒さを言い訳に練習を嫌々取り組んでいたことや、親や先輩、後輩に対しても、真摯に向き合うことができていたかなど様々なことを考え直しました。寒さや暑さは、我慢や各季節の厳しさや精神的な成長を教え、周りの人たちは、私を叱咤激励しながら支えてくれました。現在、支援員として毎日利用者の方々と向き合っています。今も支援を行う中で、利用者の方たちから教えられることが多くあります。その日々の中で、成長している気持ちを持ち続けていきたいと思っています。

さんほみち



「FC白薩摩」にスポット
玉利さん 永田さん 篠山さん
鶴之園さん 宝満さん 畦浦さん 高松さん

今回は旭福祉センターが誇るフットサルチーム「FC白薩摩」にスポットです。

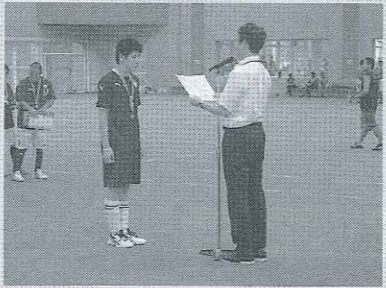
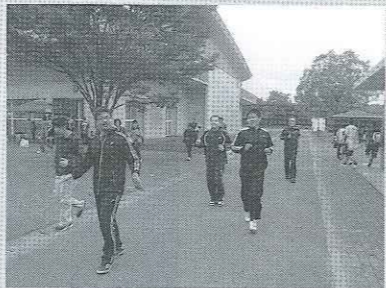
七月に行われたフットサル大会で二冠を達成したみなさんにインタビューを行いました。

○優勝した時はどのような気持ちでしたか？
「嬉しかったです。でも二冠できたのは思っていたより良かったです。」
「二連覇できて良かったです。」
「やっぱり嬉しかったです。」
○印象的な場面や試合はありましたか？
「表彰式の時最初にメダルを掛けてもらったときはすごく心に残りました。」
「試合中に相手チームの人とぶつかったこと。かなり痛かったです。」
「自分がボールを持っていたら、相手チームがボールを取ろうと人数で奪おうとしてきました。すくすくハ

キヤッスルカルーセルに乗って王子様のような感じがしました。イツァ・ア・スモールワールドに行きました。船に乗って人形たちが、歌に包まれて世界中が幸せになりました。アリスのティーパーティーに行き友達と一緒にコップの中に入れて回して、目が回りました。プーさんのハニートンに行き、中に入るとハチミツをなめたくなってしまいました。空飛ぶダンボに乗って空を飛んでいる感じがしました。ものすごく楽しかったです。次も東京に行つて、デイズニードに行つて、楽しみたいです。

潤一は、会話が上手くできません。自分の言いたい事だけを勝手に喋っています。今回、この欄をお借りして本人に代わって自己紹介させていただきます。

昭和六十三年生まれの潤一は、今年二十六才になりました。翌年には平成になりましたので、数少ない昭和六十四年生まれ、平成元年生まれの子達が同級生です。平成と共に育ってきたという感じです。この二十六年間、どうしようと思つた事も多々ありましたが、現在元気で旭福祉センターに通っている事は、本当に有難いです。体調が悪いとき以外は、「行かない」「行きたくない」とは言



又した(笑)」「
○鶴之園さん、それはボールを持っていたら奪おうと必死になって追いかけてきますよ(笑)」「
○畦浦さんは？
「私は、決勝の試合。」
○畦浦さん、それはどうしてですか？
「前半は四一で勝っていたけど、後半で二点入れられて同点になってしまつて、たけと最後の最後で、高松さんと宝満さんが決めてくれて、優勝ができた。」
○それは白熱した戦いだったんですね。とても印象的な試合でしたね。(鶴之園さん、宝満さん、高松さん、篠山さんも決勝戦がとても印象に残った試合のようでした)」「
○今回キャプテンを務めた宝満さん。キャプテンとして頑張ったことありますか？
「みんなをまとめていくこと。チームが丸くなつていた気がする。」
○今回の大会で弱点は見つけられましたか？
「攻めも守りもバランスのよいチームにしていきたい。」
○次にむけてより選手たちをまとめていってほしいね。」
○それでは今度は、昨年に引き続き、MVPに輝いた高松さん。MVPに決まった時の気持ちを聞かせてください。」
「今回もとても嬉しかったです。」
○今回もMVPを狙っていましたか？
「狙っていたけど、ほかのチームにうまく人がいて、ちょっと不安だった。」

いけません。先生方や利用者の方々のおかげと感謝しております。

センターのお昼ご飯のことをよく話しますが、(実は、食事のことしか話しません)「今日は、お肉だった。おいしかった。」等と言っています。

歌が大好きで、家の車に乗る時はいつもお気に入りのMDを自分で選びます。なぜか昭和の歌が大好きです。松田聖子・田原俊彦・小泉今日子・少年隊、等々。家族の誰かが聞いていた訳ではなく、本人の好みです。聞いたままに歌うので、聞いているこちらが、「あれ？」と思う変な歌詞で歌っていることもよくあります。

車も大好きで、走っている車の名前を覚えてくれますが、正しいのかどうか私にはわかりません。ミニカーも大好きなので、毎月第三土曜日には、ミニカーの新車を買に行きます。(毎月二台ずつ、必ず新車が発売されるので)困った所も多い潤一ですが、センターの先生方・利用者の方々の皆様・保護者の皆様、これからもどうぞよろしくお願い致します。

私も、小学生の頃から現在までの影響で剣道を続けてきました。今の影響で剣道の練習が中や、雪が降る寒い中で足の感覚が無くなるような中で、竹刀を打ち込んできました。そのような日々の中で、ある先生に教えていただいた、自分自身の中に留めている言葉があります。「我以外皆我師の精神を持って」正直、最初はこの言葉の意味がよく分かりませんでした。家に帰り、すぐに調べたところ、「人や物、環境さえも、自分自身に対して何かを伝え、教えてくれている師である」というある小説で、宮本武蔵が言った言葉でした。意味を知ったとき、自分自身のことを改めて考え直さなければならなさと感じました。暑さや寒さを言い訳に練習を嫌々取り組んでいたことや、親や先輩、後輩に対しても、真摯に向き合うことができていたかなど様々なことを考え直しました。寒さや暑さは、我慢や各季節の厳しさや精神的な成長を教え、周りの人たちは、私を叱咤激励しながら支えてくれました。現在、支援員として毎日利用者の方々と向き合っています。今も支援を行う中で、利用者の方たちから教えられることが多くあります。その日々の中で、成長している気持ちを持ち続けていきたいと思っています。

勝会も上げ、美味しい食事を取りながら大会の話で盛り上がったようです。また、来年のフットサル大会で優勝を勝ち取れば三冠達成となり、FC白薩摩がいる一部リーグでは初の「三冠達成」という快挙を成し遂げるこのこと。

今後の活躍ぶりに期待です。皆様もご声援のほどよろしくお願ひします。ありがとうございました。

